



○9月も終わり。生徒の皆さん先は見据えていますか？

夏が明け、第2回のテストも終わりました。そして、10月前期が終わるタイミングで“現在の成績（評価・評定）”がでます。そして、その1ヶ月後には“第3回定期テスト”があり、11月末には、入試で使う“学習の記録（評価・評定）”が確定し、いよいよ進学希望先を確定する日がくるのです。「学校見学に行きました」という人や「合同説明会だけで、これから学校見学に行きます」という人などそれぞれですが、しっかりと進路選択の準備は進んでいるのか心配です。

ところで、進学希望のみなさんの多くは「公立優先」で考えているようですが、「**私立高校**」についても調べてみたことはあるでしょうか？「**勉強が難しそう**」「**学費が高そう**」「**校則が厳しそう**」など、マイナスのイメージを持たれることが多い私立高校ですが、本当にそうでしょうか？

私立高校にも目を向けてみようということを今回はたよりに書きます。

「**学習面**」では、私立高校の多くは多様な学科・コース等を設置しているようです。

外国語、福祉、情報、自動車、スポーツ、美術、家庭科などなど、

好きなことにとことん打ち込めるチャンスがあります。

また、学力向上・大学進学に特化したコースなどもあります。



「**学費面**」では、成績優秀者に優遇措置を設けている学校もあります。（特待生・奨

学生など名称はさまざまです）一定以上の学力を有する者に、入学金や設備費、授業料などの一部または全部を支給してくれるケースがあり、併願受験でも制度を活用できる学校もあります。また、家庭の経済状況に応じて「学費支援制度（以前お配りした資料にも載っていました）」など活用できる場合もあります。

「**校則面**」では、たしかに厳しいルールを設定している私立高校は多いよう

です。ですが裏を返せば、それぞれの学校が独自の教育理念に基づき、きめ細やかな指導をしてくれるととらえることもできます。学習面・生活面の両方で充実したサポートが受けられ、高校に行ってから見ちがえるように成長した、などという話もよく聞きます。



このように、私立高校には、公立とはまた違った魅力があることも事実です。

「初めは行くつもりはなかったけど、見学してみたら気に入っちゃったから、専願で受験します。」などという話も、決して珍しいことではありません。

自分の行きたい学校を見つけるために、「食わず嫌い」で考えてしまうのはやめて、一度私立高校についてもじっくり検討してみてください。

○進路説明会のお知らせを配布しました！

先日、進路説明会のお知らせを配布しました。

- ・ 今後の進路日程について
- ・ 私立高等学校進路相談について
- ・ 推薦制度について
- ・ 公立高等学校入試手続きについて

説明会の次第（おおまかな内容）は、上記の通りです。10月23日（水）の進路説明会以降の進路の日程や私立、公立高等学校の受験（検）までの流れなどを、ご説明します。また、進路説明会の内容の参考になるように“質問用紙”をお知らせに付けさせていただきました。

これを機に、もう一度ご家庭で“今、不安なこと”“わからないこと”などを話し合ってみてください。保護者の目線から“お子さんに伝えたいこと”や生徒自身の目線から“保護者に相談したいこと”を、些細なことでも構わないので話し合える機会にさせていただき、その結果、説明会で質問したい内容については

“質問用紙”に記入し提出をお願いします。担任に直接相談したいと思う内容であれば、生徒の口から直接声を掛けられるといいと思います。



○奨学生のお知らせ（再掲載）

一般財団法人 あしなが育英会

- ・ 対象者 保護者（父または母）が、病気や災害などで死亡、または保護者が1～5級の障害認定を受けていて、経済的な援助を必要としている子供（800人程度）
- ・ 奨学金の内容 月額3万円（給付型）
※私立高校入学一時金（30万円）を貸与する制度もあり
- ・ 申込期限 12月15日（日）まで **※すでに募集は始まりました**
- ・ 貸与期間 貸与部分は20年間無利子での分割返済
- ・ 申込方法 中学校に申請書があります（9月ごろから）

fujitter

夏に受けた研修で“工藤勇一”さんのお話を聞きました。その中で「赤ちゃんは、生まれながらの主体性の塊」「手をかければかけるほど、子ども達は自律できなくなり自分がうまくいかないことを誰かのせいにするようになる。そして、主体性を失い、自分も他人も嫌いになる。不幸な気持ちになる」という話がありました。

もうすぐ1歳になる我が子も、教えなくても「リモコンを使ってテレビをつけてみようとしたり」「スマホで電話をかけようとしたり」「自分でスプーンを使って食べたり」まさに主体性の塊。いつか来る彼の進路選択の時、私はどのように息子と接している親になっているのだろう、と考えた悩んだ夏。そして、息子の誕生日10月5日は、TV番組「お母さんといっしょ！」の誕生日と同じだと知って、とてもうれしい気持ちになった夏。